

## 米国防総省の調査結果等について

このことについて、米国防総省が発表した、炭疽菌の誤送付に関する調査結果が外務省から送付されました。その概要は以下のとおりです。

国防総省の研究所による炭疽菌の誤送付を受け、調査委員会を設置して根本的原因等について調査を行った。

国防総省の研究所では、内部の実施要領を遵守していたが、実施要領には、殺菌するための放射線照射量、不活性化確認テスト等について不備があった。

(キャンプ座間に炭疽菌サンプルを発送した)ダグウェイ試験場については、不活性化確認テストに過小な量のサンプルを使用したことと、炭疽菌を殺菌するための放射線照射と不活性化確認テストとの間の期間が短すぎたことが誤送付の要因として考えられる。

なお、本日までに外務省より以下の情報が提供されました。

- 1 炭疽菌サンプルの送付は、キャンプ座間の公衆衛生研究所において、日本国民や米軍関係者を炭疽菌の脅威から防護する観点から、検知機器が正しく作動することを確認するために行われたものである。
- 2 新たな検知機器の導入により、サンプルを用いた試験は平成 22 年に終了したため、炭疽菌サンプルの送付は不要になった。

市といたしましては、引き続き、国及び米軍に対し、情報提供を求めてまいります。

以上

問合せ先  
渉外課  
042-769-8207